

ホームルーム活動(人権) 学習指導案

1 主 題 (単元) 子どもの人権 (いじめといじり)

2 主題設定の理由 (省略)

3 ね ら い (単元の目標)

学校生活の中で見受けられるいじりの場面について話し合い、どのような発言が相手を傷付けてしまうのかや誰かがいじられている場面に直面した際にどのように対応すべきなのかを考え、適切な行動をとることができるようにする。

4 指 導 計 画

人権意識調査結果から・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間

子どもの人権 (いじめといじり)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間 (本時)

身の回りの差別①「情報と人権」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間

身の回りの差別②「防災と人権」・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間

人権や個人が尊重されるまちづくり・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1 時間

5 本 時 の 学 習

(1) 目標

相手を傷付けてしまう可能性がある言動に気付かせるとともに、それに対してどのように第三者が対応すべきなのかを考えさせ、学校生活でどのように実践するかを書く。

(2) 普遍的な学習のテーマ・・・仲間づくり、個人の尊重

個別人権課題名・・・・・・・・・・子ども

(3) 展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価
導入 3分	○本時の学習内容と資料を確認する。	○「いじめ」と「いじり」の違いについて考えさせる。	
展開 37分	<p>○【事例1】～【事例3】の動画を見て、動画内のいじりについてどう思うか考える。</p> <p>○自分がその言動を第三者として、その場で見聞きしたと仮定し、どのような対応をするべきか考える。</p>	<p>○授業支援アプリを用いて、動画内のいじりについてどう思うかをふせんに書かせる。</p> <p>○ふせんに書かれた内容について、グループで話し合わせる。その後、クラスで共有させる。</p> <p>○授業支援アプリを用いて、とるべきだと思う行動について、ふせんに書かせる。</p> <p>○ふせんに書かれた内容について、グループで話し合わせる。その後、クラスで共有させる。</p> <p>○発言した側やそれを傍観していた側は、少しいじっただけと捉えていても、言われた側は深く傷付き、命を落とすことにもつながるということを理解させる。</p>	<p>○相手を傷付けてしまう可能性のある言動について理解することができたか。(知識的側面)</p> <p>○主体的にグループでの話合いの活動に参加できているか。(価値的・態度的側面)</p>
まとめ 5分	○振り返りシートを記入する。	<p>○アンケート入力フォームを用いて個人の考えを記入させ、クラス全体のタグクラウドを電子黒板に投影する。</p> <p>○これから友達との関わり方をどのようにしていくかやいじりの場面に遭遇した際にとる行動を書かせる。</p> <p>○相手を傷付ける言動は絶対に許さないということを伝える。</p>	○これからの友達との関わり方や誰かがいじられている場面に直面した際にとるべき態度を書くことができたか。(技能的側面)